

「平成30年度大阪府子育て女性の禁煙支援事業」
事業調査報告書

一般社団法人 大阪府歯科医師会

事業調査報告書

第1章 事業概要

1. 事業目的

大阪府における女性の喫煙率は、10.7%であり、全国の女性の喫煙率9.5%と比較して高い傾向にある。妊娠中はこの割合が下がるものの、子どもの成長とともに喫煙率が上昇する傾向がある。また、喫煙者は歯周病になりやすく、歯周病の治療を受けた場合の治癒も遅くなるといわれているが、喫煙と歯周病の関連性を知っている者（20歳以上）の割合は41.9%であり、十分に認識されていない。これらの背景を踏まえ、市町村保健センターで実施する乳幼児健診において乳幼児の問診時に母親の喫煙状況を把握するとともに、喫煙経験のある母親への歯科健診を実施し、歯周病など喫煙の影響がみられる母親に対して歯科医師・歯科衛生士等による禁煙の助言を行うことで、喫煙による健康悪化を実感され、禁煙への意欲向上が見込まれる。

さらに、歯科健診実施者に対してアンケートを実施し、禁煙継続者と喫煙者（再開者含む）との行動習慣や知識の差、禁煙に取り組んだきっかけ等を調査することで、集計されたデータを次年度以降に活用することを目的とする。

2. 事業実施方法

- 1) 市町村保健センターで実施する乳幼児健診において乳幼児の問診時に
母親の喫煙状況を把握
- 2) 喫煙経験のある母親への歯科健診
〈歯科健診の内容〉
口腔内の状況（歯周組織の状態等）
- 3) 歯科健診実施者に対してアンケートを実施
〈アンケート項目〉
 - ①母親自身の自覚症状・受診状況・かかりつけ歯科医の有無
 - ②行動習慣（日々の口腔ケアなど）
 - ③喫煙と歯と口との関係の知識
- 4) 乳幼児健診時の集団指導のテーマをたばこ関連したもので行う
喫煙による影響、歯と口の健康と喫煙の関係についての啓発（リーフレットの配布、説明、情報提供）

第2章 事業結果

1. 「子育て女性の禁煙支援事業」 事業実施状況

実施日時	実施場所 (市町村健診名・実施施設)	健診実施者数	アンケート 回収数	実施内容
10月16日(火) 13時30分～ 15時30分	大正区3歳児健診 大正区保健福祉センター	4人	4人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・受動喫煙による子供の口腔への影響について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
12月11日(火) 13時30分～ 15時30分	大正区1歳6ヶ月健診 大正区保健福祉センター	4人	4人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・受動喫煙による子供の口腔への影響について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
1月15日(火) 13時30分～ 15時30分	大正区3歳児健診 大正区保健福祉センター	5人	5人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・受動喫煙による子供の口腔への影響について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
11月22日(木) 13時30分～ 15時30分	大阪市3歳児歯科健診 東成区保健福祉センター分館	4人	4人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・歯周病と喫煙について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
12月27日(木) 13時30分～ 15時30分	大阪市3歳児歯科健診 東成区保健福祉センター分館	2人	2人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・歯周病と喫煙について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
1月24日(木) 13時30分～ 15時30分	大阪市3歳児歯科健診 東成区保健福祉センター分館	8人	8人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・歯周病と喫煙について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
10月12日(金) 13時30分～15時	旭区保健福祉センター別館	2人	2人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・集団指導テーマ：女性の喫煙が胎児や 出産に及ぼす影響など ・歯科健診実施者へアンケートの実施
11月20日(火) 13時30分～15時	旭区保健福祉センター別館	5人	5人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・集団指導テーマ：女性の喫煙が胎児や 出産に及ぼす影響など ・歯科健診実施者へアンケートの実施
12月18日(火) 13時30分～15時	旭区保健福祉センター別館	1人	1人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・集団指導テーマ：女性の喫煙が胎児や 出産に及ぼす影響など ・歯科健診実施者へアンケートの実施
1月24日(木) 13時～16時	平野区3歳健診 平野区役所	1人	1人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・たばこによる口腔内の変化 ・歯科健診実施者へアンケートの実施
2月7日(木) 13時～16時	平野区1.6歳健診 平野区役所	0人	0人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・喫煙と歯周病 ・歯科健診実施者へアンケートの実施
2月28日(木) 13時～16時	平野区3歳健診 平野区役所	1人	1人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・たばこによる口腔内の変化 ・歯科健診実施者へアンケートの実施
10月22日(月) 13時～15時	枚方市1歳6ヶ月児健診 枚方市保健センター	8人	8人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・子どもへの受動喫煙、喫煙と歯周病との 関係について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
11月26日(月) 13時～15時	枚方市1歳6ヶ月児健診 枚方市保健センター	6人	6人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・子どもへの受動喫煙、喫煙と歯周病との 関係について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
1月28日(月) 13時～15時	枚方市1歳6ヶ月児健診 枚方市保健センター	4人	4人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・子どもへの受動喫煙、喫煙と歯周病との 関係について ・歯科健診実施者へアンケートの実施
11月5日(月) 13時～15時	和泉市2歳半検診 和泉市立保健センター	3人	3人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・受動喫煙における影響 ・歯科健診実施者へアンケートの実施
11月19日(月) 13時～15時	和泉市2歳半検診 和泉市立保健センター	2人	2人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・受動喫煙における影響 ・歯科健診実施者へアンケートの実施
12月17日(月) 13時～15時	和泉市2歳半検診 和泉市立保健センター	1人	1人分	・喫煙経験のある母親へ歯科健診の実施 ・受動喫煙における影響 ・歯科健診実施者へアンケートの実施
合計		61人	61人分	

2. 調査結果

2-1 歯科健診票の集計について

(1) 歯周組織の状態

歯肉出血（BOP）について：健診実施者のうち、歯肉出血（BOP）については、83.6%は歯肉状態「健全」である。（表1）

※歯周ポケットを測る際に出血するかしないかで判断。（歯周病検診マニュアル 2015）

表1 歯周組織の状態 歯肉出血（BOP）について

歯肉出血（BOP 個人コード最大値）	（人）	（%）
健全（0）	51	83.6%
出血あり（1）	10	16.4%
除外歯（9）	0	0.0%
該当歯なし（×）	0	0.0%
合計	61	100.0%

歯周ポケット（PD）について：歯周ポケットが「4～5mm」ある母親が37.7%である。（表2）

※歯周ポケットの深さ3mmで軽度、4mm～6mmで中度、7mm以上で重度の歯周炎と判断。

（歯周病検診マニュアル 2015）

表2 歯周組織の状態 歯周ポケット（PD）について

歯周ポケット（PD 個人コード最大値）	（人）	（%）
健全（0）	38	62.3%
4～5mm（1）	23	37.7%
6mm以上（2）	0	0.0%
除外歯（9）	0	0.0%
該当歯なし（×）	0	0.0%
合計	61	100.0%

(2) 健診結果の要点

口腔清掃状態について：

健診実施者のうち、「良い」47.5%、「普通」47.5%と同数である（表3）

※歯科医師の肉眼で判断し、「悪い」場合は歯磨き指導の対象。

表3 口腔清掃状態について

口腔清掃状態	(人)	(%)
良い	29	47.5%
普通	29	47.5%
悪い	3	5.0%
合計	61	100.0%

むし歯の有無について：むし歯のある人は37.7%（表4）

※歯科医師の肉眼で判断し、「注意」はむし歯予備軍の歯とする。

表4 むし歯の有無について

むし歯	(人)	(%)
ある	23	37.7%
注意	8	13.1%
ない	30	49.2%
合計	61	100.0%

歯ぐきの状態について：「注意」が41.0%、「悪い」が3.3%となっている。（表5）

※歯科医師の肉眼で判断し、「注意」は歯ブラシ等で改善する可能性があり、「悪い」は要治療とする。

表5 歯ぐきの状態について

歯ぐきの状態	(人)	(%)
良い	34	55.7%
注意	25	41.0%
悪い	2	3.3%
合計	61	100.0%

かみ合わせについて：かみ合わせ状態が「良い」対象者は82.0%である。（表6）

※生活習慣の中で同じ体勢を長時間取ることなど、例えば頬杖をつく等を改善する必要がある場合には「注意」とする。偏ったかみ合わせや左右対称に噛んでいない等の場合は「悪い」とする。

表6 かみ合わせについて

かみ合わせ	(人)	(%)
良い	50	82.0%
注意	9	14.7%
悪い	2	3.3%
合計	61	100.0%

(3) 健診結果の総評

健診結果の総評について：健診実施者のうち、「要検査」、「要治療」が**39.4%**である。(表7)
※「自己改善」の場合、歯ブラシ等のセルフケアで改善する可能性がある。歯周病、むし歯等
が疑わしい場合は「要検査」となり、歯周病、むし歯等治療が必要な場合は「要治療」と
する。

表7 健診結果の総評について

健診結果の総評	(人)	(%)
現状維持	20	32.7%
自己改善	17	27.9%
要検査	12	19.7%
要治療	12	19.7%
合計	61	100.0%

(4) 歯科健診票について まとめ

口腔内状況について、健診実施者の歯肉出血は「健全」が**83.6%**、「出血あり」が**16.4%**となっている。

歯周ポケットについて、健診実施者のうち**62.3%**は「健全」であるが、「4～5mm」歯周ポケットがある母親が**37.7%**となった。

歯ぐきの状態について「注意」が**41.0%**、「悪い」が**3.3%**となり、歯周ポケットがある母親と、歯ぐきの状態が「注意」もしくは「悪い」母親がともに約**4割**いる結果となった。

健診結果の要点について、健診実施者のうち、かみ合わせの「良い」状態が**82.0%**であり、口腔清掃状態についても「良い」**55.7%**、「普通」**41.0%**を保っているが、むし歯のある人は**37.7%**、歯ぐきの状態について「注意」が**41.0%**、「悪い」が**3.3%**となっている。

健診結果の総評について、「現状維持」は**32.7%**だが、「自己改善」、「要検査」、「要治療」と合わせて**67.3%**となり、自己改善もしくは歯科へ受診し、現在の状態を改善すべき結果となった。

2-2 アンケート調査について

1) アンケート集計について

年齢層について：本事業対象の母親の年齢層は「30代」49.2%がもっとも多い。(表8)

表8 年齢層について

年齢層	(人)	(%)
10代	0	0.0%
20代	15	24.6%
30代	30	49.2%
40代	16	26.2%
50代以上	0	0.0%
合計	61	100.0%

自分の歯と口の状態について：

「歯の色が気になる」と回答した母親が27.9%、「歯ぐきから血が出る」18.0%、「歯ぐきが腫れる」13.1%と歯ぐきの状態を気にする母親が多い。(表9)

表9 自分の歯と口の状態について(複数回答可)

歯と口の状態	(人)	(%)
特に気になる事はない	17	27.9%
歯が痛い	13	21.3%
歯の色が気になる	17	27.9%
歯に食物がはさまる	16	26.2%
歯ぐきから血が出る	11	18.0%
歯ぐきが腫れる	8	13.1%
歯がぐらぐらする	2	3.3%
口臭が気になる	10	16.4%
歯並びが気になる	9	14.8%
口が開けづらい	0	0.0%
口を開けると顎で音がる	7	11.5%
その他	7	11.5%
全体	61	

1年間の歯科受診について：

「受けていない」、「受けた・通院中」の母親はほぼ同数である。(表10)

表10 1年間の歯科受診について

1年間の歯科受診	(人)	(%)
受けていない	30	49.2%
受けた・通院中	27	44.3%
無回答	4	6.5%
合計	61	100.0%

1年間歯科を受診していない理由について：

受診していない理由として「時間がない」母親が76.7%である。(表11)

表11 1年間歯科を受診していない理由について(複数回答可)

受診していない理由	回答数	(%)
自覚症状なし	10	33.3%
メリット	0	0.0%
時間がない	23	76.7%
その他	3	10.0%
合計	30	

かかりつけ歯科医がいるかどうかについて：

かかりつけ歯科医が「いる」と回答する母親が65.6%である。(表12)

表12 かかりつけ歯科医がいるかどうかについて

かかりつけ歯科医の有無	(人)	(%)
いる	40	65.6%
いない	20	32.8%
無回答	1	1.6%
合計	61	100.0%

歯を磨くタイミングについて：

歯を磨くタイミングは「就寝前」が75.4%ともっとも多い。(表13)

表13 歯を磨くタイミングについて(複数回答可)

歯磨きのタイミング	回答数	(%)
起床時	26	42.6%
朝食後	34	55.7%
昼食後	20	32.8%
夕食後	16	26.2%
就寝前	46	75.4%
その他	0	0.0%
全体	61	

歯ブラシ・つまようじの他に使用している器具について：

器具を「使用していない」母親は42.6%である。(表14)

表14 歯ブラシ・つまようじの他に使用している器具について(複数回答可)

歯ブラシ・つまようじ以外の使用器具	(人)	(%)
糸ようじ	21	34.4%
歯間ブラシ	16	26.2%
その他	3	4.9%
使用していない	26	42.6%
全体	61	

喫煙状況について：

「過去喫煙していたが、現在は禁煙している」と回答の母親が 65.6%でもっとも多い。(表 15)

表 15 喫煙状況について

現在の喫煙状況	(人)	(%)
過去喫煙していたが、現在禁煙	40	65.6%
過去禁煙していたが、現在喫煙	3	4.9%
たまに吸う	4	6.6%
習慣的に吸う	13	21.3%
無回答	1	1.6%
合計	61	100.0%

過去に吸っていたが、現在吸っていない母親の理由について：

「妊娠をきっかけ」と回答した母親が 59.0%と半数を超えている。(表 16)

表 16 過去に吸っていたが、現在吸っていない母親の理由

過去喫煙、現在喫煙の理由	(人)	(%)
妊娠をきっかけ	23	59.0%
妊娠とは関係なし	16	41.0%
合計	39	100.0%

過去に禁煙していたが、現在再開した母親の理由について：

現在再開した全ての母親の理由として「子どもの成長により再開」と回答し、現在も喫煙中である。(表 17)

表 17 過去に禁煙していたが、現在再開した母親の理由

過去禁煙、現在喫煙の理由	(人)	(%)
妊娠をきっかけに禁煙、 子どもの成長で再開	3	100.0%
妊娠と関係なく禁煙、 子どもの成長関係なく再開	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	3	100.0%

喫煙が歯や口の健康に悪影響を与えることについて：

喫煙が与える歯や口の健康への影響について、「知っていた」母親が 60.7%である。(表 18)

表 18 喫煙が歯や口の健康に悪影響を与えることについて

喫煙が与える歯や口の健康への影響	(人)	(%)
知っていた	37	60.7%
知らなかった	21	34.4%
無回答	3	4.9%
合計	61	100.0%

本事業後の喫煙が歯や口の健康への影響についての理解度について：
 理解度について、「とてもよく分かった」、「やや分かった」と回答した母親が「無回答」を除き全てである。(表 19)

表 19 本事業後の喫煙が歯や口の健康への影響についての理解度

理解度	(人)	(%)
とてもよく分かった	40	65.6%
やや分かった	20	32.8%
やや分からなかった	0	0.0%
まったく分からなかった	0	0.0%
無回答	1	1.6%
合計	61	100.0%

現在喫煙している母親の意識変化について：
 現在喫煙継続しているの母親に対して、「とてもそう思う」、「ややそう思う」との回答が 80.0% である。(表 20)

表 20 現在喫煙している母親の意識変化について

禁煙しようと思うか	(人)	(%)
とてもそう思う	4	20.0%
ややそう思う	12	60.0%
あまり思わない	2	10.0%
まったく思わない	1	5.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

2) 現在禁煙者と喫煙継続者のアンケート項目の比較

禁煙している母親と現在喫煙している母親の集計を比較

(1) 歯科への受診状況

禁煙継続、喫煙継続の母親の歯科への受診状況について：

禁煙継続、喫煙継続の母親ともに「受診していない」母親が約半数である。(表 21、表 22)

表 21 禁煙継続している母親の1年間の歯科受診について

禁煙継続の母親の歯科受診	(人)	(%)
受けていない	19	47.5%
受けた・通院中	20	50.0%
無回答	1	2.5%
合計	40	100.0%

表 22 喫煙継続している母親の1年間の歯科受診について

喫煙継続の母親の歯科受診	(人)	(%)
受けていない	11	55.0%
受けた・通院中	7	35.0%
無回答	2	10.0%
合計	20	100.0%

(2) かかりつけ歯科医の有無

禁煙継続、喫煙継続の母親のかかりつけ歯科医の有無について：

かかりつけ歯科医が「いる」と回答した禁煙継続の母親が 60.0% (表 23)、喫煙継続の母親は 75.0%と半数以上がかかりつけ歯科医がいる。(表 24)

表 23 禁煙継続している母親のかかりつけ歯科医の有無

禁煙継続の母親の かかりつけ歯科医の有無	(人)	(%)
いる	24	60.0%
いない	16	40.0%
合計	40	100.0%

表 24 喫煙継続している母親のかかりつけ歯科医の有無

喫煙継続の母親の かかりつけ歯科医の有無	(人)	(%)
いる	15	75.0%
いない	4	20.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

(3) 喫煙が歯や口の健康に与える影響について

禁煙継続、喫煙継続の母親の喫煙が歯や口の健康に与える影響について：

喫煙が与える影響について「知っていた」と回答する禁煙継続の母親が 57.5% (表 25)、喫煙継続の母親 65.0%と半数以上である。(表 26)

表 25 禁煙継続している母親の知識

喫煙が与える歯や口の健康への影響	(人)	(%)
知っていた	23	57.5%
知らなかった	16	40.0%
無回答	1	2.5%
合計	40	100.0%

表 26 喫煙継続している母親の知識

喫煙が与える歯や口の健康への影響	(人)	(%)
知っていた	13	65.0%
知らなかった	5	25.0%
無回答	2	10.0%
合計	20	100.0%

(4) 本事業後の喫煙による歯と口の健康への影響に対する理解度について

禁煙継続、喫煙継続の母親の本事業後の理解度について：

禁煙継続、喫煙継続の母親ともに「とてもよく分かった」、「やや分かった」と回答した。
(表 27、28)

表 27 禁煙継続している母親の本事業後の理解度について

理解度	(人)	(%)
とてもよく分かった	27	67.5%
やや分かった	13	32.5%
やや分からなかった	0	0.0%
まったく分からなかった	0	0.0%
合計	40	100.0%

表 28 喫煙継続している母親の本事業後の理解度について

理解度	(人)	(%)
とてもよく分かった	13	65.0%
やや分かった	7	35.0%
やや分からなかった	0	0.0%
まったく分からなかった	0	0.0%
合計	20	100.0%

3) アンケート調査について まとめ

本事業対象者の内訳として、「20代」24.6%、「30代」49.2%、「40代」26.2%となっている。その中で、歯と口の状態について、「歯の色が気になる」と回答した母親が27.9%、「歯ぐきから血が出る」18.0%、「歯ぐきが腫れる」13.1%と喫煙経験のある母親を対象にしていることから、歯の色や歯ぐきの状態を気にする母親が多い結果となった。

現在の喫煙状況については、「過去喫煙していたが、現在は禁煙している」と回答した母親が65.6%でもっとも多く、禁煙した理由として「妊娠をきっかけ」と回答した母親が59.0%と半数を超えている。「過去禁煙していたが、現在喫煙」と回答した母親が4.9%であり、再開した理由として「子どもの成長により再開」と回答している。また、「たまたま吸う」6.6%、「習慣的に吸う」21.3%と現在喫煙中の母親が対象者の約3割となった。

禁煙継続、喫煙継続の母親ともに歯科への受診状況について、「受診していない」母親が約半数である。

かかりつけ歯科医の有無については、「いる」と回答した禁煙継続の母親が60.0%、喫煙継続の母親は75.0%と、ともに半数以上がかかりつけ歯科医がいる。

喫煙が与える影響について「知っていた」と回答する禁煙継続の母親が57.5%、喫煙継続の母親65.0%と半数以上である。

禁煙継続、喫煙継続の母親ともに喫煙による歯と口の健康への影響について、説明後、「とてもよく分かった」、「やや分かった」と回答し、本事業対象者への理解度が高まったと考えられる。また、現在喫煙継続しているの母親の意識変化について「とてもそう思う」、「ややそう思う」との回答が80.0%であった。

第3章

事後評価

本事業は、喫煙経験のある母親の喫煙状況を把握するとともに、歯科健診を実施し、歯周病など喫煙の影響がみられる母親に対して歯科医師・歯科衛生士等による禁煙の助言を行い、歯科健診実施者に対してアンケートを実施し、禁煙継続者と喫煙者（再開者含む）との行動習慣や知識の差、禁煙に取り組んだきっかけ等を調査することで、集計されたデータを次年度以降に活用することを目的として行った。

実施した健診結果から、「現状維持」は**32.8%**だが、「自己改善」、「要検査」、「要治療」と合わせて**67.2%**と自己改善もしくは歯科へ受診して現在の状態を改善すべき結果となり、喫煙経験のある母親に自身の口腔内の状況を知ってもらえるきっかけになり、喫煙と歯や口への影響についての啓発に繋がったのではないかと考える。

また、アンケート結果の歯科への受診状況から、禁煙継続中の母親、喫煙継続中の母親で歯科に「過去喫煙していたが、現在は禁煙している」と回答した母親が**65.6%**と最も多いが、過去喫煙経験があることにより、「歯の色が気になる」**27.9%**、「歯ぐきから血が出る」**18.0%**、「歯ぐきが腫れる」**13.1%**と歯の色や歯ぐきの状態を気にする母親が多い。さらに、健診実施者のうち、約**4割**が歯周ポケット「**4～5mm**」以上で歯周炎の疑いがあることから、現在禁煙している母親でも口腔内の歯ぐきの状態に影響が出ているものと考えられる。

現在喫煙継続している母親については、「禁煙しようと思うか」とのアンケート項目に、「とてもそう思う」、「ややそう思う」との回答が**80.0%**であり、現在喫煙継続している母親に対して禁煙への意識付けとして事業の効果があったものと考えられる。

これらの結果に注目し、本事業と同様に市町村の母子健診等の場を利用して、喫煙経験のある母親に対して健診事業を行い、禁煙継続中の母親に対しては、禁煙歴等についてヒアリング・アンケートを実施し、アンケート調査を基にした禁煙継続するためのセミナーを行い、現在喫煙継続中の母親に対しては、禁煙へ意識変化するためのセミナーを行い、喫煙と歯や口への影響について啓発していく必要があると考えられる。

本事業で使用した健診票

大阪府子育て女性の禁煙支援事業歯科健康診査票

大阪府歯科医師会歯科健康診査票
132.3-131.2

健診日	平成 年 月 日	住所
氏名		

健診結果の要点

(該当するものに○をつけてください)

- 口腔清掃状態 (良い ・ 普通 ・ 悪い)
- むし歯 (あり ・ 注意 ・ ない)
- 歯ぐきの状態 (良好 ・ 注意 ・ 悪い)
- かみ合わせ (良好 ・ 注意 ・ 悪い)
- その他 ()

健診結果の総評

- a. たいへん結構です。今の状態を維持してください。
- b. 今の状態ではお口の健康は維持できません。お口の環境改善のため、自己管理をお願いします。
- c. お口の状態をもっと詳しく検査する必要があります。
- d. 全身の健康のためにも早く治療を受けてください。

むし歯や歯ぐきの病気は、いったんかかってしまうと、痛くなくても病気は進行していきます。決して自然には治りません。早期に治療を受ければ、治療期間も短く、費用も少なくて済み生活にゆとりを持つこともできます。
日頃から、かかりつけ歯科医師に何でも相談し、積極的に予防健診を受け、予防に心がけて一生自分の歯で食べられるようお口の健康に注意してください。

特記事項

大阪府歯科医師会(総)

- I. 口腔軟組織疾患
 - 0. なし
 - 1. あり [a. 口内炎 b. 口角炎 c. 小帯異常 d. その他 ()]
- II. 歯列・咬合の異常
 - 0. なし
 - 1. あり [a. 齶生 b. 歯齦咬合 c. 咬合咬合 d. 開咬 e. 上顎前突]
 - f. 反対咬合 g. 交叉咬合 h. その他 ()

III. 口腔清掃の状態

①歯垢の付着度

上顎	0	1	2	3
下顎	0	1	2	3

0. 歯垢および外来性付着物を認めない。
1. 歯垢が歯面の1/3以下の範囲に認められる。または外来性付着物を認める。
2. 歯垢が歯面の1/3～2/3の範囲に認められる。
3. 歯垢が歯面の2/3以上の範囲に認められる。

②歯石の付着度

上顎	0	1	2	3
下顎	0	1	2	3

0. 歯石を認めない。
1. 歯石が歯面の1/3以下の範囲に認められる。
2. 歯石が歯面の1/3～2/3の範囲に認められる。
3. 歯石が歯面の2/3以上の範囲に認められる。

IV. 歯周組織の状態

BCP	II	III	IV	【歯列出血(BOP)】	【歯周ポケット(PD)】
PD	0	1	2	0	0
BCOP	0	1	2	0	0
PD	0	1	2	0	0

V. 歯の状態

永久歯	B	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
上	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E						
乳歯																
乳歯																
永久歯	B	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
下	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E						

①健全歯: /	本②欠損歯: ○	本③未処置歯: C	本
④欠損歯: △	本⑤欠損補綴歯: ◊	本⑥現在歯: ⊕+⊙+⊚	本

注: 欠損歯は欠損歯として数える 暫置の欠損は欠損としてしない 過剰歯は対象としない

大阪府歯科医師会

本事業で使用したアンケート

「女性の健康づくり」に関するアンケート

このアンケートでは、子育て世代の女性の生活習慣、（特に喫煙）に関する歯と口の健康についてお聞きするものです。続いて行われる歯科健診の検討結果をもとに、今後の女性の健康づくりに役立てていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。なお、アンケート結果は調査目的以外に使用することはありません。

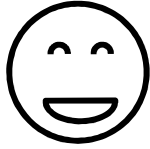
以下の質問についてお答えください。

1. 年齢層についておたずねします。
a. 10代 b. 20代 c. 30代 d. 40代 e. 50代以上
2. 現在の歯と口の状態についてどのように感じていますか。
a. 特に気になることはない
b. 気になることがある（あてはまるものすべてに○をつけてください）
ア. 歯が痛い、しみる イ. 歯の色が気になる ウ. 歯に食物がはさまる
エ. 歯ぐきから血がでる オ. 歯ぐきが腫れる カ. 歯がぐらぐらする
キ. 口臭が気になる ク. 歯並びが気になる ケ. 口が開けづらい
コ. 口を開けると顎で音がする サ. その他（ ）
3. この1年の間に歯科を受診したことがありますか。
a. 受けていない→4. ^ b. 受けた・現在通院中→5. ^
4. 3. で受けていないと答えられた方にお聞きします。その理由としてあてはまるものを教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）
a. 特に気になる症状がないから
b. 健診に行くメリットがわからない
c. 育児・家事が忙しくて、通院する時間が取れないから
d. その他（ ）
5. かかりつけの歯科医（治療だけでなく、定期的な管理のために受診している歯科医）がいますか。
a. いる b. いない
6. いつ歯を磨きますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）
a. 起床時 b. 朝食後 c. 昼食後 d. 夕食後 e. 就寝前 f. その他
7. 歯ブラシ・つまようじの他に、次の器具を使用していますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）
a. 糸（付）ようじ（デンタルフロス） → 使う頻度：週 回
b. 歯間ブラシ → 使う頻度：週 回
c. その他（ ）
d. 使用していない
8. 喫煙について
a. 過去に吸っていたが、現在は吸っていない → 9. ^
b. 過去に禁煙したが、現在は再開している → 10. ^
c. たまに吸う → 11. ^
d. 習慣的に吸う（ 本/日） → 11. ^
9. 8. で「過去に吸っていたが現在は吸っていない」と答えられた方にお聞きします。そのきっかけと時期を教えてください。
a. 妊娠をきっかけ（妊娠を考え始めて・妊娠が判明して など）に禁煙した
b. 妊娠の時期と関係なくやめた（その時期 ）
10. 8. で「過去に禁煙したが、現在は再開している」と答えられた方にお聞きします。そのきっかけと時期をおしえてください。
a. 妊娠をきっかけに禁煙したが、子どもが大きくなったので再開した
b. 妊娠と関係なく禁煙し、子どもの成長と関係なく再開した
c. その他（ ）
11. 喫煙は歯ぐきの病気（歯周病）を発症・進行させ、歯を早くなくす要因となります。喫煙が歯や口の健康に悪影響を与えることをご存知でしたか。
a. 知っていた b. 知らなかった

さいごに

アンケート調査と歯科健診にご協力いただきまして、ありがとうございました。もう少しだけお付き合いです。

ア. 喫煙による歯と口の健康への影響について理解いただけましたか？



とてもよく
分かった



やや
分かった



やや
分らなかった



まったく
分らなかった

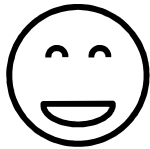


理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 説明が分かりにくかった
- 説明時間が不十分だった
- その他 ()

イ.(現在喫煙されている方のみお答えください)

今日の説明を聞いて禁煙しようと思われましたか？



とても
そう思う



やや
そう思う



あまり
思わない



まったく
思わない



理由を教えてください(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 自分のお口の健康状態を知ったから
- 子どもの受動喫煙について知ったから
- 禁煙サポート医療機関について知ったから
- その他 ()

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入漏れがないか、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

一般社団法人 大阪府歯科医師会 発行

(平成30年度大阪府子育て女性の禁煙支援事業補助金)